

横暖ルーフα

工 法

新築

下 地

耐水合板

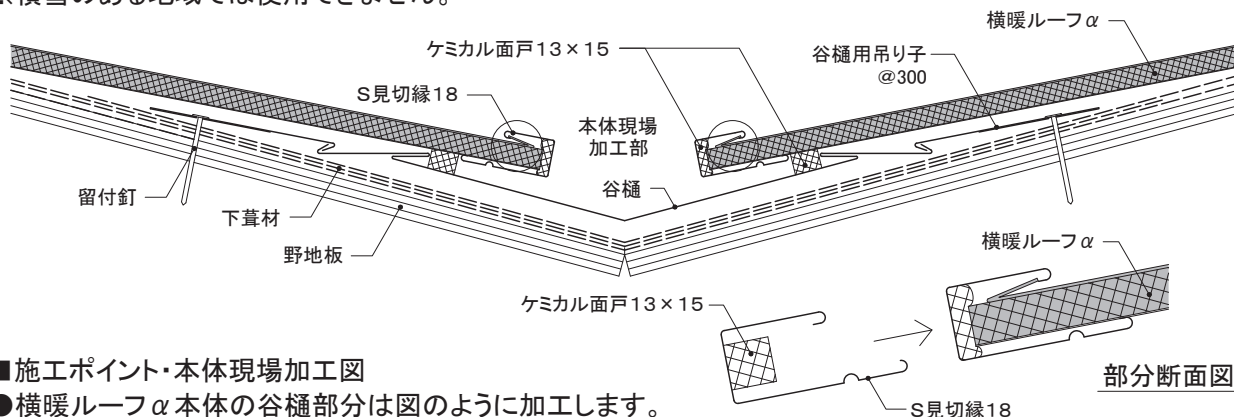
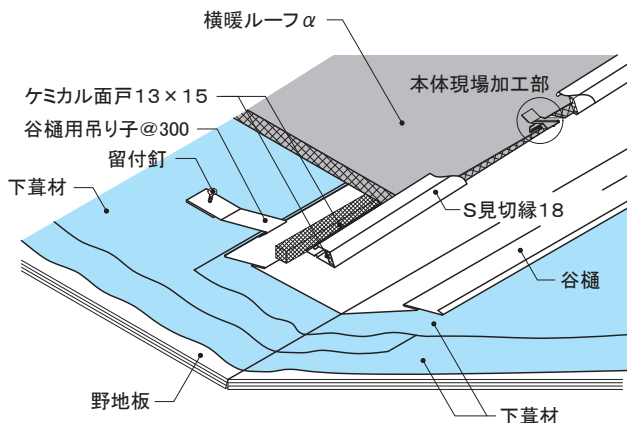
構造

木造

8) 谷部

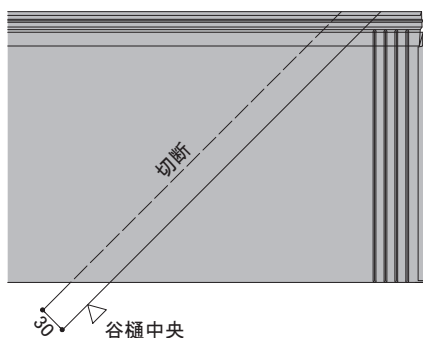
②谷樋+S見切縁18

- 野地板の上に、下葦材を張ります。
- 谷樋は谷樋用吊り子を使用し留め付けます。谷樋用吊り子は300mm以下の間隔で配置し、留付釘(ステンレスクリュー釘 長さ32mm以上)を用いて留め付けます。
- 谷樋部分の横暖ルーフαは下図のように折り返し加工します。S見切縁18と谷樋にケミカル面戸13×15を貼り付けます。横暖ルーフα本体の折り返し加工部とS見切縁18のハゼとが引っ掛かるまで押し付けます。
- 挿着後、S見切縁18を引っ張り、外れないことを確認してください。
- 本体施工の際は、谷樋を避けて施工します。
※積雪のある地域では使用できません。

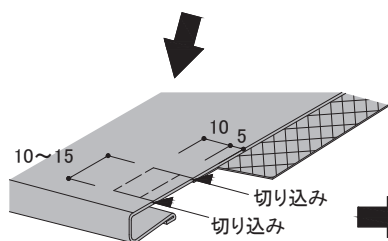


■施工ポイント・本体現場加工図

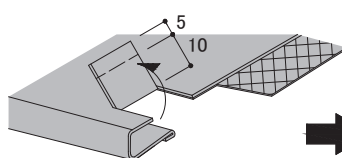
- 横暖ルーフα本体の谷樋部分は図のように加工します。



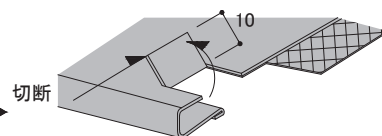
- ①横暖ルーフα本体を谷樋中央部から30mmの位置で切断します。



- ②図の位置2ヶ所に切り込みを入れます。



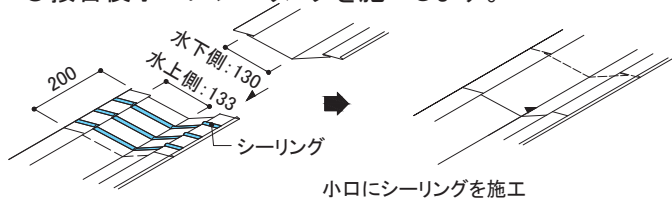
- ③切り込みを入れた部分を起こします。



- ④端部から5mmの位置を切断します。

■谷樋 接合部

- 重ね代にシーリングで3本のビードを作り、上部谷樋を差し込みます。
- 接合後小口にシーリングを施工します。



※谷樋は図の寸法のように流れの上下で小口の大きさが異なります。水上側に目印がありますので、接合時には注意して施工してください。